
第2章

水道事業の概要

第2章 水道事業の概要

1. 三郷市の沿革・地勢

本市は、昭和31年9月30日に町村合併促進法により、東和村、彦成村、早稲田村の3村が合併して三郷村が誕生し、その後、昭和39年10月1日に町制を施行し三郷町となり、さらに、8年後の昭和47年5月3日に県下37番目の市制施行により「三郷市」ととなりました。

地勢としては、埼玉県の東南端に位置し、東に江戸川、西に中川、南に小合溜井と水に囲まれた土地です。北は吉川市、西は草加市と八潮市、南は東京都葛飾区、東は千葉県松戸市と流山市に接しています。東西5.6km、南北9.5kmの低平地でほとんど高低差はありません。

市内には、鉄道駅としてJR武蔵野線の三郷駅と新三郷駅、つくばエクスプレス(TX)の三郷中央駅があり、自動車道としては三郷ジャンクションを中心に常磐自動車道や首都高速道路、東京外環自動車道が通っています。都心から20km圏内という地理的条件に加え、このような交通の利便性の高さから、大規模な開発が次々に行われてきました。

三郷市の沿革	
明治 22年	51村の合併で彦成村・早稲田村・戸ヶ崎村・八木郷村の4箇村になる
昭和 18年	戸ヶ崎村と八木郷村が合併し、東和村になる
昭和 31年	東和村・彦成村・早稲田村が合併し、三郷村になる
昭和 39年	町制施行で三郷町に改称
昭和 42年	三郷町前間と吉川町三輪野江の境界を変更
昭和 47年	市制施行で三郷市に改称

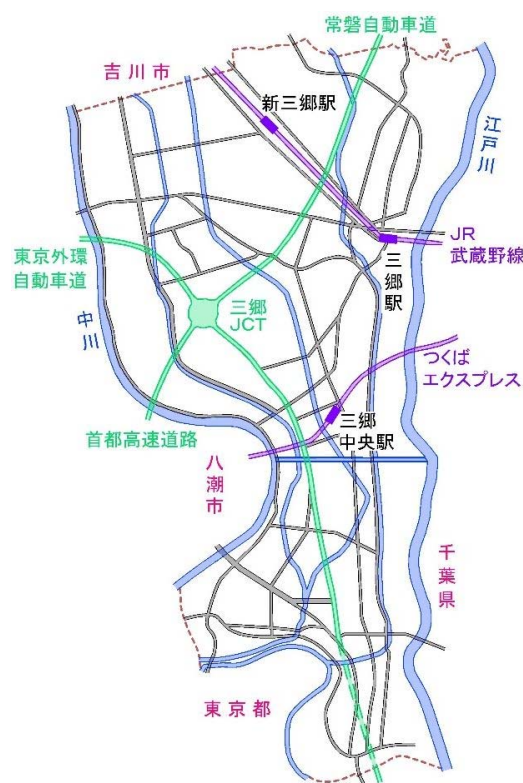


図 2-1.三郷市全域図

2. 水道事業の現況

1) 水道事業の沿革

本市の水道事業は、昭和31年6月に彦成地区、昭和33年3月に東和地区、昭和33年9月に早稲田地区と、3地区の簡易水道が創設認可されたことにより始まりました。

その後、急激な人口の増加に対応するために、昭和41年3月に行政区域全域を給水区域として、計画給水人口 40,000 人、計画一日最大配水量 12,000 m³/日とする上水道事業が創設されました。創設後も更なる人口の増加に対応するために、第2期、第3期の拡張事業認可を取得し、現在は、平成3年2月5日に第4期拡張事業の認可を受けて、計画給水人口 142,000 人、計画一日最大配水量 62,100m³/日として事業を行っています。

表 2-1.水道事業の沿革

名 称		認可 年月日	起工 年月	竣工 年月	目標 年次	給水人口 (人)	計画規模	
							一人一日 最大配水量 (L/人)	一日最大 配水量 (m ³ /日)
簡 易 水 道	彦成地区	S31. 6. 15	S31. 8	S32. 4	S41	5,000	150	750
	東和地区	S33. 3. 9	S33. 10	S34. 7	S43	5,000	150	750
	早稲田地区	S33. 9. 4	S34. 11	S35. 9	S44	5,000	150	750
上 水 道 事 業	第1期拡張	S41. 3. 22	S41. 6	S45. 3	S45	40,000	300	12,000
	第2期拡張	S46. 3. 29	S46. 4	S51. 3	S50	100,000	380	38,000
	第3期拡張	S53. 3. 31	S53. 4	S61. 3	S60	131,000	420	55,000
	第4期拡張	H 3. 2. 5	H 3. 4	H 8. 3	H7	142,000	437	62,100
平成26年度実績						136,840	351	48,010

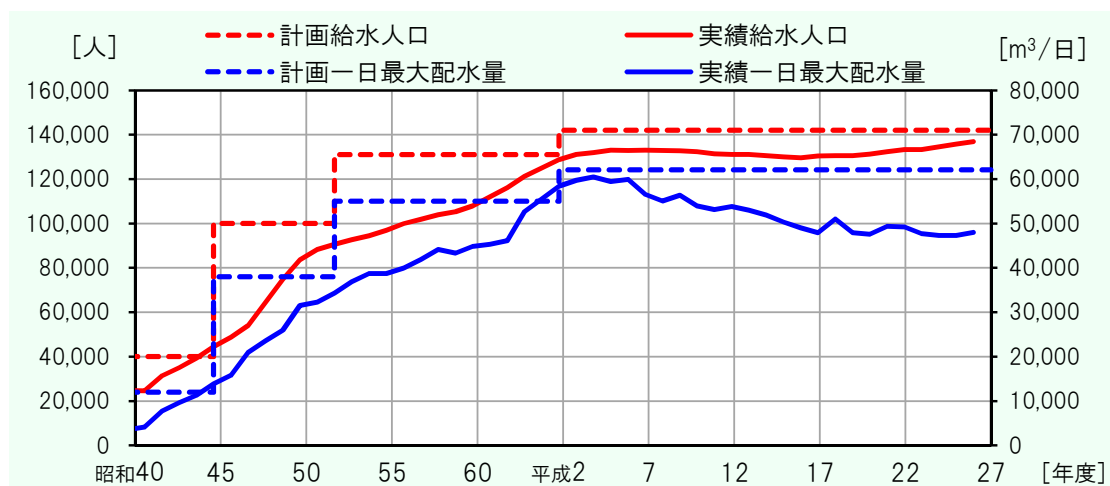


図 2-2.給水人口・配水量の推移

2) 水道施設の現況

本市の水道事業は、江戸川を水源とする埼玉県営水道※(埼玉県企業局)の新三郷浄水場からの浄水(以下「県水」とします。)受水と、8箇所の深井戸※から取水する地下水を水源として、北部浄水場、北部第二配水場、中央浄水場の3箇所から市内全域へ給水を行っています。

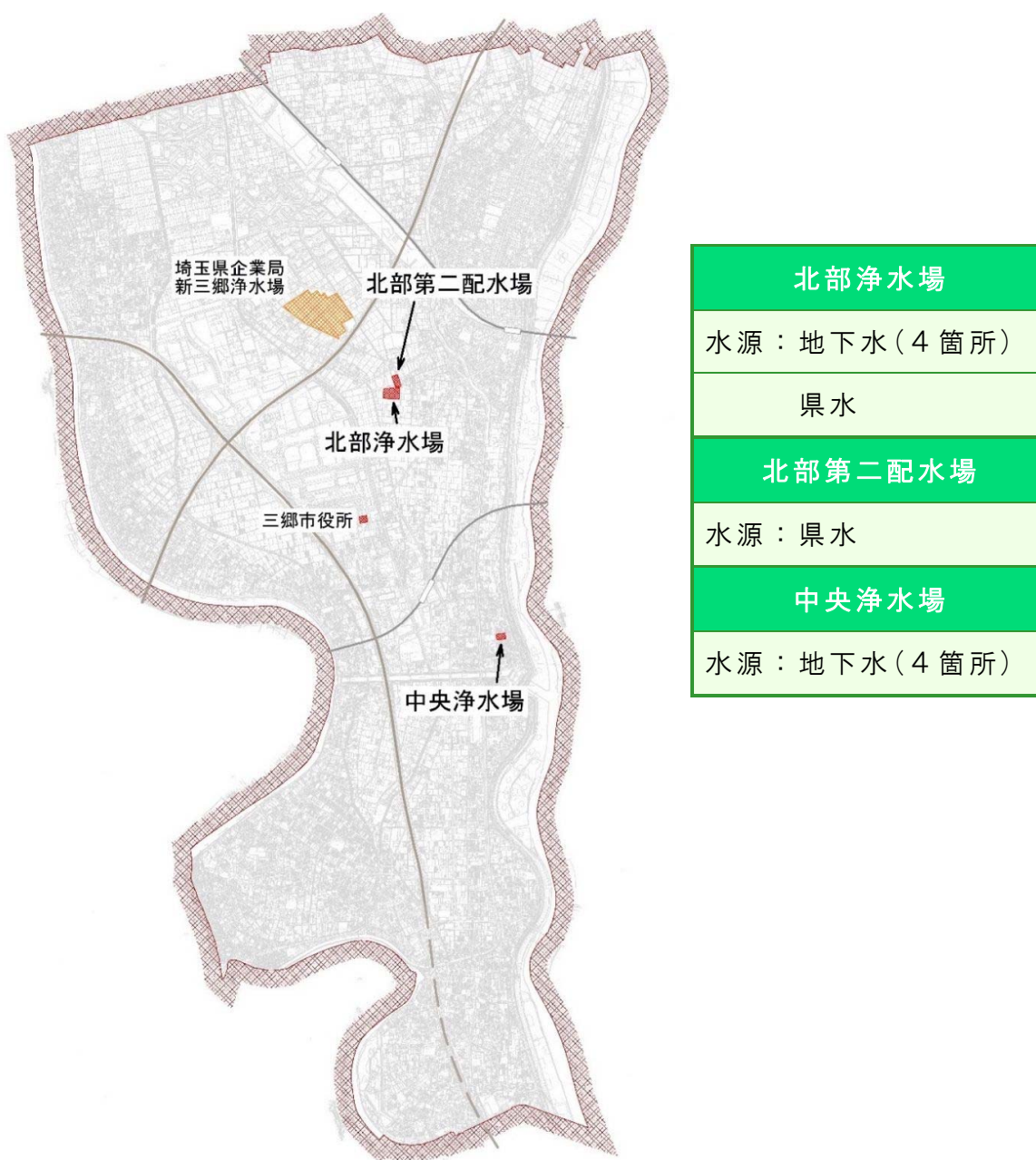
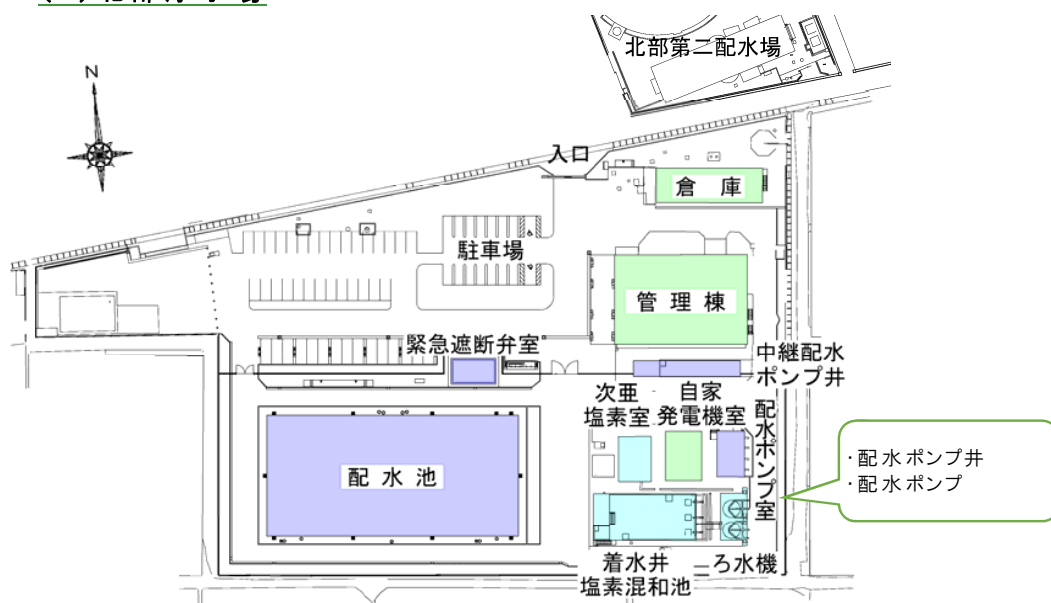


図 2-3.本市の水道施設位置

※印は用語解説に掲載している用語

(1) 北部浄水場



通水開始年

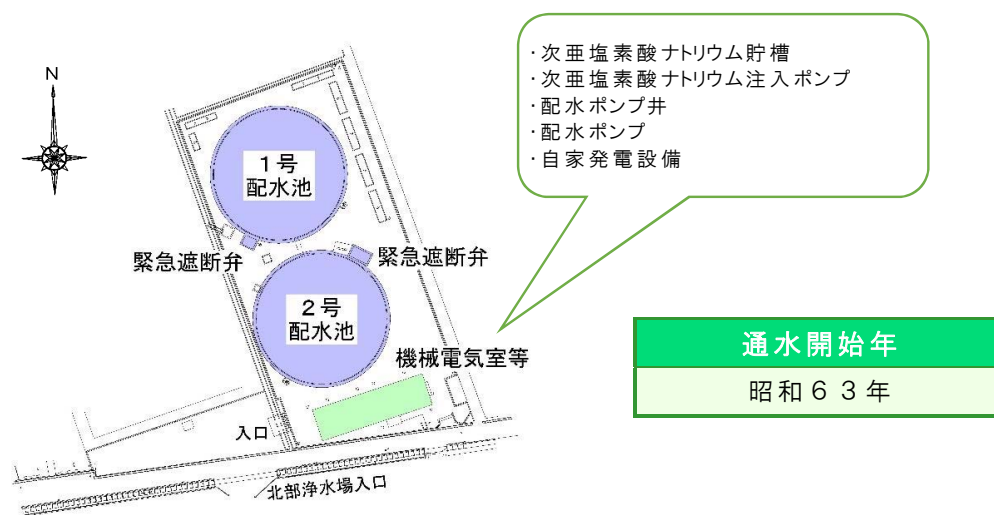
昭和47年



施設名	種 別	構造・方式
浄水施設	着水井 [※]	1池 RC構造
	塩素混和池 [※]	1池 RC構造
	ろ水ポンプ(塩素混和池内)	3台 水中ポンプ
	ろ水機 [※]	2基 密閉式円筒立型
	次亜塩素酸ナトリウム [※] 貯槽	2槽
	次亜塩素酸ナトリウム注入ポンプ	4台
配水施設	配水池	1池(2槽式)ステンレス鋼板製 V=10,000m ³
	中継配水ポンプ井	1池 RC構造
	配水ポンプ井	1池 RC構造
	配水ポンプ	4台 水中ポンプ
	緊急遮断弁 [※]	2基
電気施設	自家発電設備	1台 ガスタービン機関・交流発電機

※印は用語解説に掲載している用語

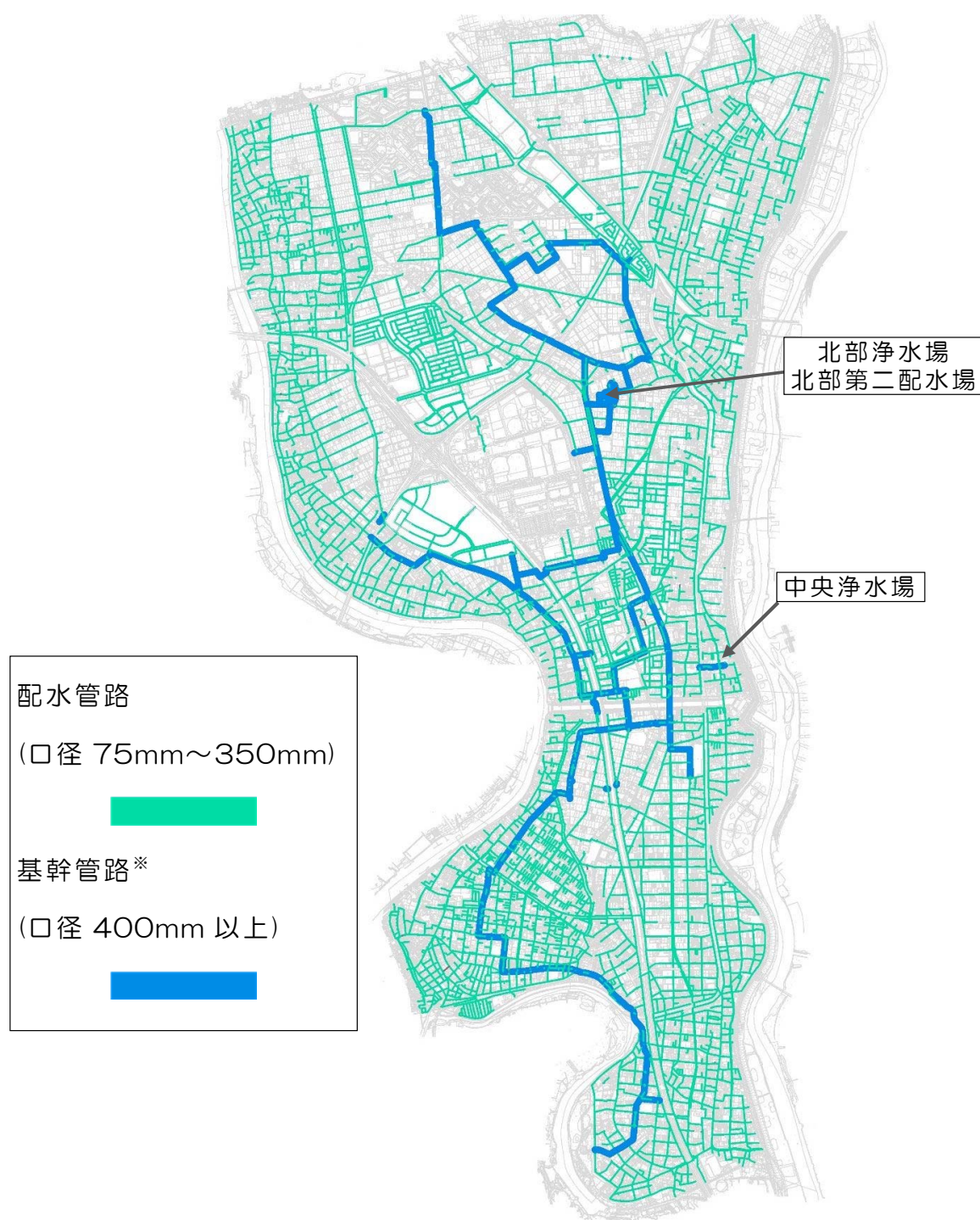
(2)北部第二配水場



施設名	種 別	構造・方式
配水施設	次亜塩素酸ナトリウム貯槽	2槽
	次亜塩素酸ナトリウム注入ポンプ	3台
	配水池(1号、2号)	2池 PC構造 $V=10,000\text{m}^3 \times 2$ 池
	配水ポンプ井	鋼管 $\phi 2,400$
	配水ポンプ	3台
	緊急遮断弁	2基
電気施設	自家発電設備	1台 ガスタービン機関・交流発電機



(4)配水管路布設状況



※印は用語解説に掲載している用語
